

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	技術者倫理		
英文授業科目名			
開講年度	2006年度	開講年次	3年次
開講学期	6学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-必修科目		
開講学科・専攻	量子・物質工学科		
担当教官名	高野倉 雅人		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ
takanokura@ie.kanagawa-u.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>科学技術の発展は、人間の生活レベルを向上させると同時に、社会の仕組みを変え、地球環境に影響を及ぼしている。科学技術を扱う技術者は、自らの行為が人間・社会・環境に与える影響を正しく認識し、公衆の健康と安全と福祉とに貢献する義務を負う。本授業は、講義とグループワークとを通じ、技術者が負う責任を理解して、倫理的な問題に対処できる能力を養うことを目標とする。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
なし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
なし

<b>【教科書等】</b>
教科書：藤本温、他「技術者倫理の世界」（森北出版）

<b>【授業内容とその進め方】</b>
<p>次の内容について講義する。その他に、数回の小テストを授業中に行い、理解度を確認する。数回のレポート課題を与える。授業の最後には、技術者倫理に関連する事例について議論し、発表するグループワークを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術者倫理とは</li> <li>・技術者と倫理綱領</li> <li>・ケーススタディ - チャレンジャー号事故など</li> <li>・倫理的な問題の解決方法</li> </ul>

## 電気通信大学 平成18年度シラバス

- ・安全性とリスク
- ・技術者倫理と企業倫理
- ・グローバルエンジニアに必要な倫理観
- ・グループワークディスカッションと発表会

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法：

- (1) 小テスト(20%)
- (2) レポート(30%)
- (3) グループワーク(20%)
- (4) 期末試験(30%)

で評価する。

評価基準：以下の到達レベルを合格の最低基準とする。

- (1) 技術者が負う責任を説明できること
- (2) 倫理的問題の解決方法を使えること
- (3) グループのメンバーと討論をして、いくつかの解決策を提案できること

### 【オフィスアワー：授業相談】

質問などについては、授業後、または次の電子メールで受け付ける。

アドレス：takanokura@ie.kanagawa-u.ac.jp

### 【学生へのメッセージ】

急速に進歩している科学技術は、人類に恩恵をもたらしています。しかし原発事故や環境問題に代表されるように、科学技術の使い方を誤ると、人類や社会に危害を与える可能性があります。技術者の卵である皆さんには、社会に貢献する技術力を修得すると同時に、科学技術と人間・社会・環境との関係を理解し、人類に幸福をもたらす技術者となるための素養を身に付けて下さい。

### 【その他】